

知の泉

Castalia

第 21 号
2014.09

東京外国語大学附属図書館報

Tokyo University of Foreign Studies Library Bulletin

---Contents---

02 館長巻頭言

03 TAC 図書館サービスを使おう!!

06 北米図書館における RDA 実践に関する実態調査

07 平成 25 年度附属図書館公開講演会報告

11 平成 25 年度附属図書館特別展示会報告

12 図書館統計

14 図書館活動日誌・編集後記

館長巻頭言

附属図書館長 栗原 浩英

現在、日本の大学は国公立、規模にかかわらず、各自の持ち味を強化しながら、国内外の教育研究機関と連携協力を構築しながら新たな可能性を開拓すべく努力を重ねています。本学も、昨年 11 月に多摩地区 5 大学（東京経済大学、武蔵野美術大学、津田塾大学、国際基督教大学、国立音楽大学）の協力機構である多摩アカデミックコンソーシアム（TAC）に加盟しました。その一環として 5 大学との図書館の相互利用が始まり、すでにこの制度を利用された学生の皆さんもいることでしょう。また、本年 1 月には日本貿易振興機構アジア経済研究所図書館と本学附属図書館の相互利用協定が締結され、2 月から実施に移されています。一年の間にこれほど多くの他大学・他研究機関との相互利用が実施の運びとなったのは、附属図書館創立以来の大きな出来事であったのではないかと思います。

また、冒頭に述べたような大きな流れの中で、大学の特色を映し出す鏡のような存在でもある図書館にも努力が求められていることはいまでもありません。しかし、同時に、世界中のありとあらゆる書籍を収蔵・閲覧できるような図書館はこの世に存在しないのも事実です。したがって、収蔵されている書籍に偏差ができてしまうのは当然のことといってもよいでしょう。一方、学生の皆さんの関心は多岐に渡っているし、教員から求められることも様々だと思います。附属図書館ではできる限り学生の皆さんの声にも耳を傾けながら、購入図書の選定を行っていますが、どうしてもご要望に応えられないという局面も出てきます。

図書館の相互利用はこうした制約を克服する上で、極めて有効な方法です。TAC を例にとると、附属図書館では所蔵に限界のある経済学や芸術関連の図書の利用を期待することができます。さらによいことは、一般の図書館間相互貸借（ILL）では利用者が郵送料を支払う必要があるのに対し、専用のトラックが TAC 加盟 6 大学間を回っているため、図書の相互利用に際して郵送料が発生しないことです。もちろん、加盟大学の図書館に出向いて閲覧や貸し出しを行うこともできます。本年 3 月には東京経済大学図書館が新築オープンし、私も見学に行ってきましたが、限りのある敷地を最大限に活用した素晴らしい図書館です。皆さんにも足を運んでいただき、その上で附属図書館に対するご意見をいただくことができるのを期待しています。

また、個人的な話題になってしまいますが、私のように、専攻地域の現状分析も手掛ける人間にとっては、アジア経済研究所図書館は宝の山みたいなところです。ただ、所在地が都心を挟んで本学と対極にあるので、そう何度も足を運ぶわけにもいかないところが難点です。今回、相互利用協定によって、図書を 10 冊（1 か月間）まで借りることができるようになりましたので、非常にありがたい制度だと思っています。

どうか皆さんが図書館の相互利用制度を大いに活用してくださることを願っています。

※図書館の相互利用制度については、以下の附属図書館 HP をご確認ください。

・特定大学/研究機関図書館との相互協力

<http://www.tufs.ac.jp/library/service/tokutei-j.html>

・TAC 図書館サービス

<http://www.tufs.ac.jp/library/service/tac.html>

TAC 図書館サービスを使おう!!

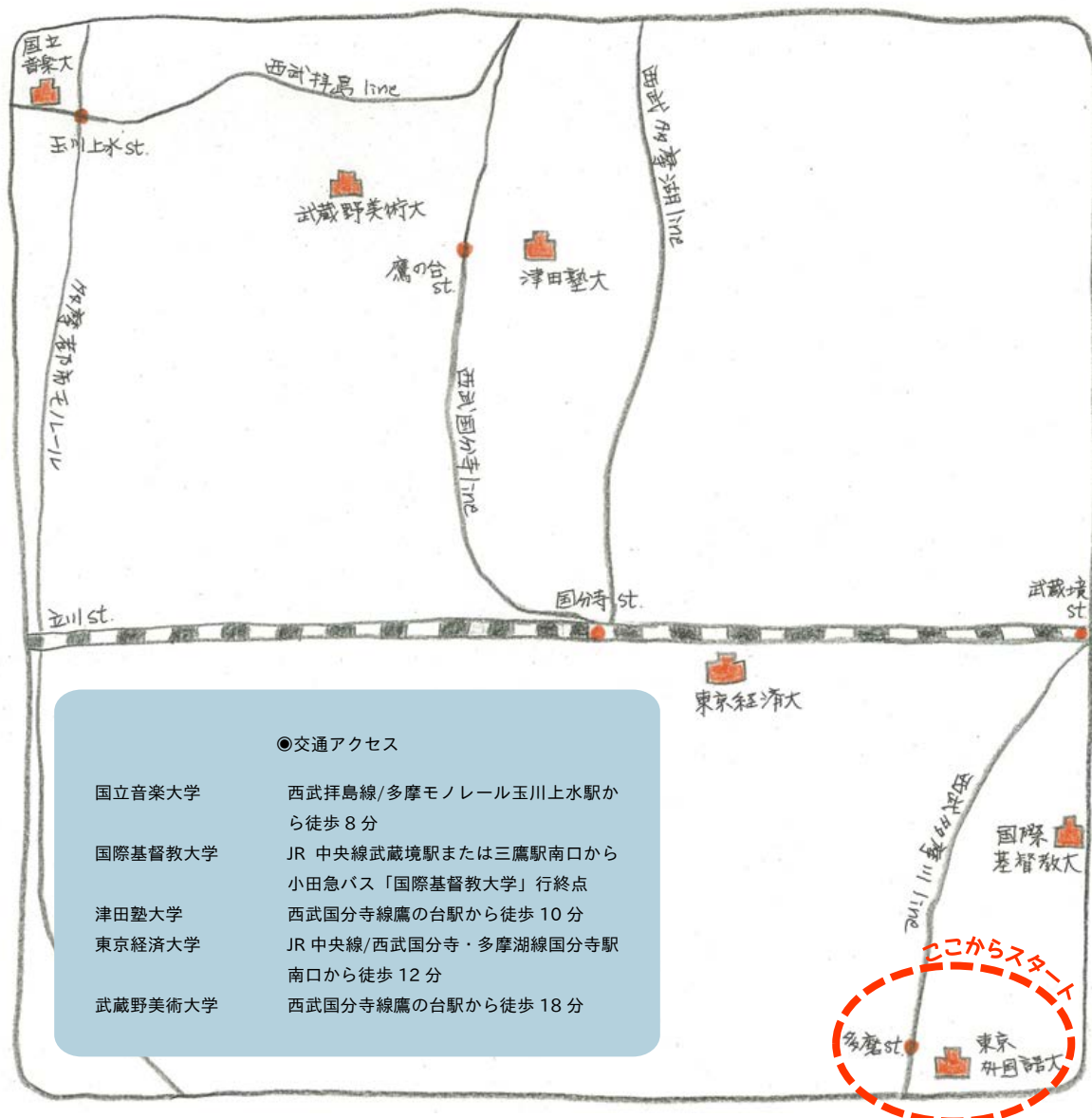


TAC 図書館サービスとは…

TAC (Tama Academic Consortium) とは多摩地区の 6 大学、国立音楽大学、国際基督教大学、津田塾大学、東京経済大学、武蔵野美術大学、東京外国語大学で構成された大学協力機構です。2014 年 1 月から、学部生、大学院生、常勤教員の方が TAC 加盟校の図書館を利用できる、TAC 図書館サービスが始まりました。サービスは以下の 4 種類です。

- ◎貸出サービス：TAC 加盟校を訪問して直接図書を借りることができます。
- ◎TLL サービス：希望する図書を東京外大附属図書館に取り寄せ、借りることができます。料金はかかりません。（詳しくは次ページ参照）
- ◎返却サービス：貸出サービスで借りた図書を東京外大附属図書館で返却できます。
- ◎共有データベース利用サービス：TAC 加盟校のデータベースを訪問して利用できます。
データベース一覧：http://www-lib.icu.ac.jp/TAC/TAC_Database_List2014.pdf

地図





TLL をやってみよう！

TAC 加盟校の図書館は、さまざまなジャンルの図書を所蔵しています。TLL サービスを利用すると、これらの図書を東京外大附属図書館で申し込み、受け取り、返却することができます。各大学ならではの図書を取り寄せてみました。それぞれの特徴をつかみ便利に活用しましょう。TLL の申請は附属図書館 2F カウンターで受け付けています。サービスの詳細はこちらをご覧ください。TLL (TAC Library Loan) サービスとはhttp://www.tufs.ac.jp/library/service/tac_tll.html

国立音楽大学

図書館 HP: <http://www.lib.kunitachi.ac.jp/>

音楽関係の図書はもちろん、楽譜や録音・映像資料なども多数所蔵しています。また、国立音楽大学では、本格的なコンサートや講演会・レッスンなどのイベントも多数開催しています。

写真集 国歌—世界 167 カ国

情報センター出版局編 情報センター出版局 2000 年



世界中の国歌を集め、美しい写真とともに日本語訳の歌詞を紹介しています。日常生活で外国の国歌を聞く機会はあまり多くありません。しかし、国歌といえばオリンピックの表彰式。2020 年には東京でオリンピックが開催されます。メロディだけではなく、歌詞の意味を知っておくと、オリンピックをより一層楽しむことができるでしょう。

国際基督教大学

図書館 HP: <http://www-lib.icu.ac.jp/>

キリスト教関連の図書に限らず、全分野にわたって広範囲に収集されているので、東京外大附属図書館で所蔵していない資料を入手したい場合は、まず国際基督教大学図書館から当たってみることをお勧めします。そして何と言っても自転車なら約 15 分と、本学から近いことが魅力です。

あなたもなれる!日本語教師

中村良廣著 松柏社 2006 年

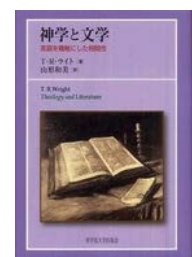


日本語教師になりたいと思っている人のための入門書です。「だれに」「なにを」「どのように」教えるのかということからトレーニング方法まで、わかりやすい解説だけではなく、具体例が満載されています。本書を読んで夢を叶える一歩を踏み出してみましょう。

神学と文学 言語を機軸にした相関性

T.R.ライト著 山形和美訳 聖学院大学出版会 2009 年

聖書を文学として読むとどうなるのか。自己・神・世界といった宗教的概念は、文学作品のテキストの中で、隠喩、象徴表現、曖昧表現を例として、どのように表現されてきたか。本書は「神学」と「文学」という 2 つの異なる研究分野における、相互作用の可能性を追究した 1 冊です。難解な文章ではありませんが、本書をきっかけに本学と国際基督教大学との研究が出会ったら、どんな素晴らしい相互作用が生まれるのか、思いを馳せてみるのも良いかもしれません。



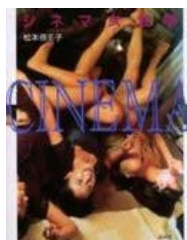
津田塾大学

図書館 HP: <http://lib.tsuda.ac.jp/>

英米文学・言語学・各国の社会歴史・女性問題に関する資料を、数多く所蔵しています。本学と同様、貴重資料などの一部の資料を除き全館開架式なので、書庫の 1 階から 5 階まで自由に入って、資料を閲覧することができます。

シネマ女性学

松本侑子著 論創社 2000 年



1980 年代から現在までの約 130 本の映画を取り上げ、その中に描かれた女性像や女性を取り巻く人間関係の変化を、「男と女」「夫婦」「母と娘」「家族」「女の友情」「仕事」「戦争・暴力と女」「自立への模索」「美しく老いる」「伝記」といったテーマごとに、解説しています。有名な作品からそうでないものまで紹介されているので、きっと自分のお気に入りの 1 本が見つかるはずです。



東京経済大学

図書館 HP: <http://www.tku.ac.jp/library/>

経済・経営・法学・コミュニケーションなどの社会科学系の資料を中心に所蔵しています。新図書館は2014年4月1日にオープンしたばかりで、様々な形で学習環境を提供しています。周囲の緑豊かな森からの風と自然光が感じられる、省CO2建築としても話題の図書館です。

カイシャ意外史 社史が語る仰天創業記

村橋勝子著 日本経済新聞出版社 2008年



実際に社史を読んでもみると、単なる会社の歴史を記した資料というだけではなく、読み物としても大変面白いものだということがわかります。創業者は「日本女性の風俗を変えた、美形でやり手の青年社長」だったワコールや、「55歳で脱サラ、製菓の頼みは図書館」だったエーザイなど、今となっては誰もが知っている有名企業21社の軌跡は、どれも驚きのエピソードばかりです。

武蔵野美術大学

図書館 HP: <http://mauml.musabi.ac.jp/library/>

2010年4月に新図書館棟が竣工し、2011年6月に美術館棟がリニューアルオープンした美術館・図書館は、図書館、美術館、博物館の機能を備えたユニークなデザインの建物です。国内外の展覧会図録を集めた「カタログギャラリー」、国内外の絵本を集めた「絵本ギャラリー」、書物の歴史や印刷・製本技術など、書物とその周辺領域に関する本を集めた「ブックギャラリー」など、歩くだけでも楽しい図書館になっています。

象徴図像研究 動物と象徴

和光大学総合文化研究所 松枝到編 言叢社 2006年



古くから人間と深い関わりをもってきた動物、彼らをテーマにした世界各国の文学・美術・宗教図像を取り上げ、美術・考古学・民俗学・人類学・言語学の側面から、人間と社会の関係を解き明かした1冊です。

マメな豆の話 世界の豆食文化をたずねて

吉田よし子著 平凡社新書 038 平凡社 2000年

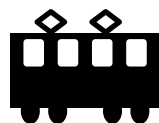
本学でも世界各地のレシピ本を多く所蔵していますが、本書は中国・インド・南米・アフリカなど世界中のユニークな豆食文化を紹介しています。日本人にとってなじみの深いダイズから、新大陸の知られざる豆まで、また古来の人々が豆に加えてきた工夫や、多様な食べ方など、豆の奥深さを感じることができます。



蔵書検索には…TACOPAC！

TAC 加盟校図書館の蔵書を一括検索できます
<http://opac.icu.ac.jp/tacopac/mutual.html>

ローカル線に乗って TAC 図書館に行こう



TAC加盟校の図書館の多くは、東京にいながらにしてのどかな雰囲気を楽しむことができるローカル線の沿線にあります。

黄色い車体の特徴の西武国分寺線の歴史は古く、本学とほぼ同時期の1894年に開通しました。(津田塾大学・武蔵野美術大学最寄) また、多摩都市モノレールは「ワイン列車」「ビール列車」など、多数のイベント列車を開催しています。(国立音楽大学最寄)

そして、お馴染みの西武多摩川線は、地域の人に親しまれるようにという思いを込めて白一色の車体になっています。(国際基督教大学・東京外国語大学最寄)

他大の図書館に行くなんて面倒…と思っている人も、ぜひ小旅行気分を味わいに、TAC図書館へ足を運んでみてください！



北米図書館における RDA 実践に関する実態調査

平成 25 年度国立大学図書館協会海外派遣事業調査報告

附属図書館員 村上 遥

調査 スケジュール

- * 米国議会図書館
Library of Congress
平成 25 年 8 月 6 日
- * シカゴ大学
The University of Chicago
平成 25 年 8 月 8 日～9 日
- * コロンビア大学
Columbia University
平成 25 年 8 月 12 日

二重になった窓越しに、夕焼けが飛行機の尾翼に反射する。キーンというあの独特な音がひっきりなしに続くエア・カナダの機内で窓の外を眺めた私は、”とうとう着いた、アメリカだ！”と思った。

昨年、私は国立大学図書館協会海外派遣事業（短期）に採択され、この文章を書いているまさに一年前の 2013 年 8 月 3 日、約 10 日間の調査のため、アメリカに旅立った。調査の目的は、北米をはじめ世界で導入が進む、新たな目録規則「RDA Resource Description and Access」の実態調査だ。

OPAC や CiNii で私たちが日ごろ目にする目録は、「日本目録規則」や「英米目録規則」といった規則に基づき作成されている。RDA は、この「英米目録規則」の後継にあたるものだ。

近年、図書館目録は、ウェブ上の情報コミュニティの中で「主流から取り残される」危機に瀕しているといわれている。データが図書館利用に限定されたつくりになっていて、ウェブ環境に適していないからだ。RDA はこの問題をデータ記述面から解決するために生まれた。

RDA で新しくなったポイントは、(1) 電子ブックなどすべてのメディアに対して、効果的な書誌コントロールができること、および、出版や Google など、(2) 図書館以外のコミュニティで利用されることを目的としている点にある。RDA には FRBRⁱ の概念が用いられ、名前から「英米目録規則」の「英米」の文字が消えた。世界的な規則を目指しているということだ。その名の通り、フランス、スペイン、中国など、RDA の導入は世界中で進んでいる。一方、日本では、国立国会図書館の洋資料など、ごく一部の範囲にとどまっている。

本学は分野柄、多言語資料を扱うことが多く、国外のデータ参照が欠かせないため、世界における RDA をめぐる動きを、調査する必要があるとは強く感じてきた。

しかし、調査の結果、現状では幸か不幸か、データは大きく変わらないことが分かった。

データの入れ物である、メタデータフォーマットが、まだ変更されていないからだ。データが変わらないということは、「図書館以外のコミュニティでの利用」が、現時点では実現されていないことを意味する。

それでは RDA の導入はどのような意味があるのだろうか。

現在、米国では新たなメタデータフォーマットの検討や、リンクトデータⁱⁱ に向けた統制語彙の作成が進められている。長い検討段階を経て導入された RDA は、こうした一連の動きの皮切りであり、図書館データ改革を、「絵に描いた餅」で終わらせないという、北米図書館の意思のあらわれなのではないだろうか。

今後、ウェブの世界で利用されるデータをいかにして作成するか。

ウェブの時代である今では、国境の垣根なく世界中の図書館員が知恵を出し合い、一緒に取組んでいくことができる。日本の一図書館員としても、前進に貢献したいと、新たな勇気をもらった調査であった。

なお、本調査の詳細な報告は雑誌『大学図書館研究 101 号』に掲載を予定している。



ⁱ FRBR: Functional Requirements for Bibliographic Records (書誌レコードの機能要件) については、日本図書館協会による日本語訳が次のサイトで参照できる。 <http://www.ifla.org/files/assets/cataloguing/frbr/frbr-ja.pdf>

ⁱⁱ リンクトデータ(Linked Data): HTML が文章を記述した技術であるのに対して、データを構造化して記録するための(データの web) データ。(1) RDF で記述、(2) 名前に URI を使う、(3) 名前の参照が HTTP URI で行えるようにするなどの特徴を持つ。

平成 25 年度 附属図書館公開講演会報告

講演：「私と外国語」

ドナルド・キーン氏

（コロンビア大学名誉教授、東京外国語大学名誉博士）

対談：ドナルド・キーン氏

亀山郁夫氏（名古屋外国語大学長、東京外国語大学前学長）

【講演会概要】

附属図書館では、社会貢献のひとつとして、公開講演会を毎年開催しています。平成 25 年度は、東京外国語会との共催により、10 月 30 日（水）17 時からアゴラ・グローバル プロメテウス・ホールにおいてキーン先生による講演「私と外国語」および亀山前学長との対談が行われました。

教室にも映像が配信され多くの学生が聴講しました。参加者はホール・教室を合わせて 662 名を数え、大変盛況でした。終了後にはキーン先生の著作集の販売とサイン会が行われ、多くの学生が、キーン先生と直接言葉を交わす機会を得られました。

講演要旨

「私と外国語」 ドナルド・キーン



私はニューヨークで生まれ育ちました。子供の頃から世界の歴史が好きで、一番好きな人物はマリー・アントワネットでした。外国への興味が強かったので、9 歳（1931 年）の夏に父が仕事でヨーロッパに行く際に、2～3 時間泣いて（私は子供の頃から悲しいことがあっても泣かない人間でしたが）父を説得し同行しました。最初にフランスに行き、この時フランス語を覚えたいと強く思いました。

外国語を勉強する機会を得たのは中学校からでフランス語を勉強しました。先生は厳しい方でしたが、フランス

語は好きでしたし得意でした。中学の卒業の時には、母がバルザックの小説 4 冊をプレゼントしてくれました。この本は今でも持っています。

高校ではもう一つ外国語を勉強する必要がありスペイン語を選択しました。父の仕事の関係で翌年（1936 年）、スペインに引っ越すことになっていたのがその理由でしたが、内乱が発生したためスペインに行くことはありませんでした。

コロンビア大学ではギリシャ語、ラテン語、フランス語、ドイツ語を覚えるつもりでしたが、大学には他に必修科目があり、外国語だけを勉強することができませんでしたので、フランス語とギリシャ語を選びました。また、中国人と友達になり、彼から漢字を教えてもらったことをきっかけに、中国語の勉強を始めました。

日本語との出会いは 1941 年の春です。図書館で中国語の勉強をしていた時に知らない男性から食事に誘われ、夏の休暇中にノース・カロライナの山荘で一緒に日本語を勉強してくれないかと頼まれました。その時日本は友人の母国である中国と戦争をしていましたので、日本語を学ぶことを迷いましたが、結局、招待を受けることにしました。

当時、大人のための日本語の教科書はなく、日本の小学校で使うものを使用しました。「サイタ、サイタ、サクラガサイタ」で始まる『小學國語讀本』でした。山荘で 2 ヶ月間、日本語を学んでコロンビア大学に戻った後は、中国語と日本語を勉強しました。

日本思想史の授業で角田柳作先生に出会いました。最初の授業で学生は私一人でしたが、先生は一人で十分ですと言って、他の学生が加わるまで私一人のために授業を準備してくださいました。素晴らしい先生でした。今でも私にとって「先生」とは角田先生だけです。

1941 年 12 月に太平洋戦争が始まりました。私は反戦主義者でしたが、米国海軍で日本語が勉強できることがわかり、カリフォルニアの海軍日本語学校に入学しました。カリキュラムは、毎日、読解 2 時間、会話 1 時間、書き取りが 1 時間でした。学生たちは非常に熱心で、16 カ月かかるはずの授業を 11 カ月で修了しました。長沼直兄の教科書を使い、現代の日本語を広く読みました。難しいのは書き取りでした。一生懸命書いて漢字を覚えました。そして日本語学校の卒業時には、文語体や行書も読めるようになっていました。

戦争中に翻訳したものは無味乾燥なものばかりでしたが、ある日、日本兵の日記を見つけました。血の臭いが染みついて誰も手をつけていなかったものです。この日記は私にとって非常に重要なものになりました。日記に書かれた、南太平洋の戦地での水や食糧難、病気、アメリカ軍の空爆などは、どんな悲劇を読むよりもこたえました。アメリカ国内では、日本人は狂信的に戦争をしていると言われていましたが、日記を読んで、敵国人であっても同じ人間だということが初めて分かりました。このような経験から、日記文学を専門に研究することになりました。

戦争が終わった後は、コロンビア大学に戻って角田先生のもとで勉強しました。平安時代、中世、元禄時代の古典を勉強しました。ケンブリッジ大学に就職した際には、古事記と方丈記を教えました。当時、現代の日本文学は全く知りませんでした。

幸いフォード財団から奨学金を得て、2 年間日本で勉強することができました。すばらしい友達ができ、現代の日本を知ることができました。その後、コロンビア大学に移り、56 年間コロンビア大学で教えました。

私は、生涯、外国語を学んできたことを幸せに思っています。外国語を覚えることは自分にとって唯一の道だったという気がしています。他の道なら失敗していたでしょう。語学の才能があって、幸い日本語を覚えて、幸福な生活ができました。

対談要旨

ドナルド・キーン氏、亀山郁夫氏

対談では、亀山前学長によるキーン先生の自伝の朗読（『私と 20 世紀のクロニクル』最終章「八十四歳、
「老齡」を楽観する」）を交えながら、様々な対話が行われました。

※『私と 20 世紀のクロニクル』ドナルド・キーン著 角地幸男翻訳 中央公論新社 2007 年

※同書は附属図書館で所蔵しています。（請求記号：A/9A-5/626339）

※以下敬称略

〔亀山〕 講演の締めくくりに、日本語と出会って幸せだったという言葉がありました。キーン先生は人生の中で様々な選択をされていますが、それが最終的に間違っていなかったという確信に満ちて現在に至っているという印象を受けました。（朗読：320～321 頁）

また「私は泣けない男だ」とおっしゃっていますが、どうして泣けないのでしょうか？

〔キーン〕 普通は意識する前に自然に泣いているのだと思いますが、私は「泣く」と思ったら泣けなくなります。

〔亀山〕 気持ちと、自分自身を客観的に見つめる視線の間に、緊張関係があるのですね。
また、日本兵の日記を読んだことで、日本語を愛すると同時に初めて日本人の心に触れたということですが、日本人の精神、心の奥にあるコアのようなものは何でしょうか？

〔キーン〕 現代の日本人は過去の日本人と違うところがあると思いますが、変わらないものは「自然に対する愛情」です。今も手紙は季節の挨拶から始まります。文学的には、古今和歌集では季節で詩歌を並べていますし、自然の歌が一番多いです。

日本兵の日記を読んで、玉砕という振る舞いをする日本人であっても、人間性や家族への思いなどがわかりました。日記を通じて人間は根本的に同じだと発見しました。

〔キーン〕 以前、源氏物語の専門家が「源氏物語は原文で読まないとう理解できない」と言った時、私は「理解できます」と答えました。原文でないと理解できないことは細かいことで、源氏物語の中心にあるものは普遍的なものです。だからこそ世界中で読まれています。偉大な文学は言葉を超えて理解できると思います。



〔亀山〕 翻訳の本質に関わるお話しだと思います。私もロシア文学を翻訳していますが、日本語で読んだ時のほうがはるかに感動できるものがあります。翻訳だから感動が減るわけではないし、原文で読まないと作品のコアの部分がつかめない、理解できないということはありません。おっしゃるとおりです。ただし、言葉を超えて文学を理解するためには読む側の力、「empathy: 共感力」が必要ではないかと思います。他者の世界の中に入っていこうとする力があれば、言葉を超えて理解できると思います。

〔キーン〕 私に「共感力」があるとすれば、たくさんの本を読んだことによってそれを得ることができたと信じています。ホメロスからゲーテまで読み、大変自分のためになりました。それらが積もって今の自分になったと思います。その中には日本のものも多く含まれています。

日本国籍をとりましたが、自分が、日本人らしいか、アメリカ人らしいか、返事に困ります。今、アメリカに行ったらむしろ外国だと感じると思います。

〔亀山〕 私もソビエト時代にある音楽を聴いて、自分の心は本当はロシア人になっているのではないかと思ったことがあります。他者の文化に深く入っていくと、他者の文化が自分の心を奪い取って、自分がどこの国の人間でもないような、またはその国の人間であるような気分になります。外国語を研究する、外国文学を翻訳することの意味はそのようなところにあるのではないかと思います。

〔亀山〕 91 歳になられるのに大変お元気ですが、最後に、私たちのために健康と知性を保つ秘訣を教えてください。

〔キーン〕 本当のところは分かりませんが、日常生活からは 2 つのことが言えます。運動をしない。好きなものを何でも食べる。その 2 つで元気に過ごしています。

〔亀山〕 時間がきてしまいました。もう一カ所朗読をして今日の締めくくりとさせていただきます。
「八十四歳、「老齡」を楽観する」の冒頭です。
(朗読: 313~314 頁)



〔亀山／キーン〕 ありがとうございました。

対談後、キーン先生は、本学学生へのメッセージとして「学び続けることへの意欲と喜び」を述べ、また、「(私は)死ぬまで何かを書いているだろうし、何かを読んでいるだろう」と力強く語り、講演会を締めくくりました。

平成 25 年度 附属図書館特別展示会報告

東京外国語大学とスペイン語

平成 25 年は、「日本スペイン交流 400 周年」として全国で様々な記念イベントが行われ、本学でもシンポジウムや講演会などが催されました。

附属図書館では、「東京外国語大学とスペイン語」と題する展示会を開催し、当館の蔵書から、本学とスペイン語の関わりの歴史、スペイン語学習・教育の変遷、スペイン文学・文化にかかわるものにスポットを当てて紹介しました。

【会期】平成 25 年 11 月 20 日（水）～12 月 22 日（日）

【場所】附属図書館 2 階ギャラリー

東京外国語大学は、明治 6（1873）年に東京外国語学校として建学され、その後の紆余曲折を経て、明治 32（1899）年に独立しました。スペイン語は、明治 30（1897）年の高等商業学校附属外国語学校敷設とともに「西班牙語科」（スペイン語科）が設置され、以来 116 年に渡って本学で教授・研究が行われています。

展示では、日西交流史研究やスペイン語学習の基礎が築かれた明治・大正期、学習環境が整備された昭和期、そして平成期と、時代毎に本学教授陣が執筆・監修した辞書（左下『西日辞典』他）、学習書（『西班牙语会話編』他）、翻訳書（『耶蘇會士日本通信』他）を通じて、スペイン語学習・教育の変遷と本学の果たした役割について案内しました。

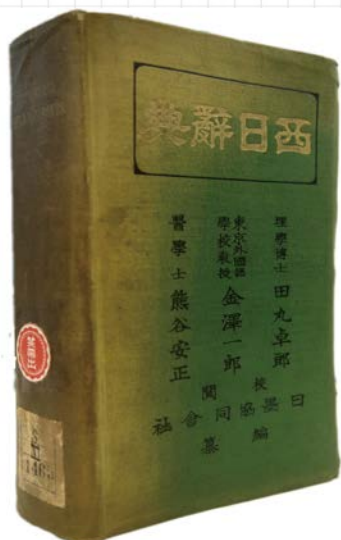
文学では、『ドン・キホーテ』を翻訳した 3 人の教授の訳文の比較から、時代による語彙の解釈の変化を検証しました。また、今昔の学生の様子として、明治期の学生の時間割や就職先の特徴、現在の学生

も毎年「外語祭」（大学祭）で行っている語劇（スペイン語で上演）について紹介しました。

いずれも、スペイン語研究・教育の長い歴史を持つ外語大ならではの展示として好評でした。

なお、本稿に記載の図書及び展示の詳細は、展示会パンフレットでご確認いただけます。附属図書館 HP に以下の URL で公開しておりますのでご覧ください。

<http://www.tufs.ac.jp/library/guide/shokai/tenji14.pdf>



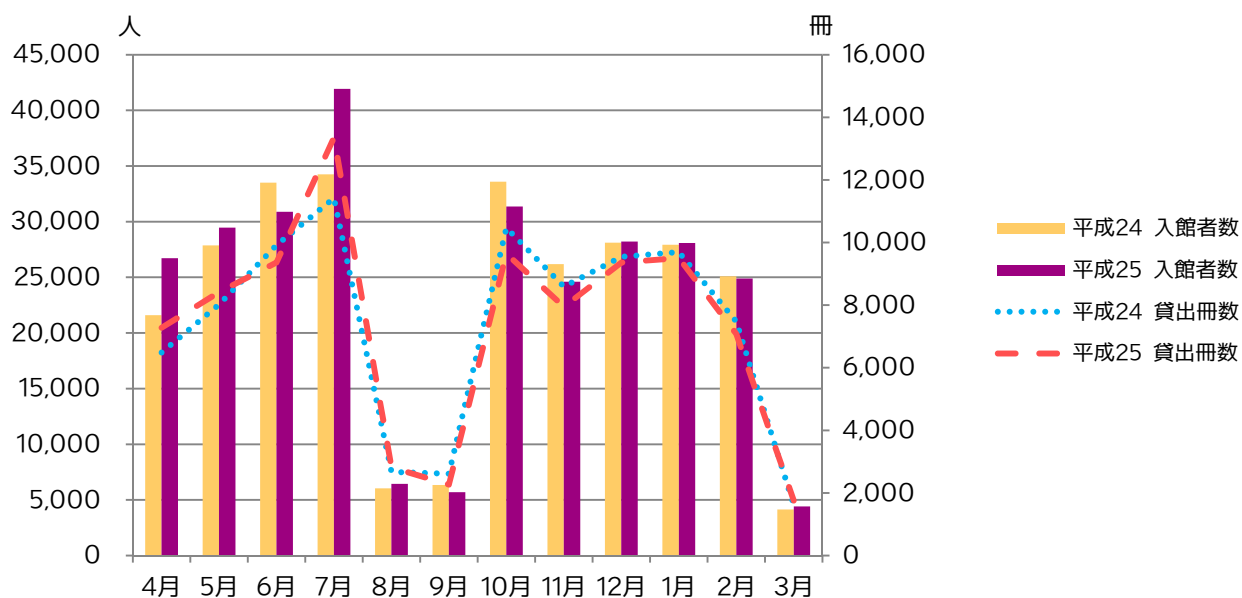
『西日辞典』（請求記号：S/I/1465）
照井亮次郎、日墨協同編 金澤一郎[ほか]校閲
右文社 1925 年



図書館統計

入館者数・貸出冊数 同月比較

【平成 24 年度（平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月）、平成 25 年度（平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月）】



入館者数・貸出冊数・開館日数・開館時間数

	平成 24 年度		平成 25 年度	
	入館者数	貸出冊数	入館者数	貸出冊数
4 月	21,596	6,488	26,711	7,278
5 月	27,873	8,021	29,469	8,412
6 月	33,509	9,917	30,885	9,362
7 月	34,246	11,421	41,931	13,351
8 月	6,037	2,672	6,436	2,818
9 月	6,335	2,615	5,693	2,267
10 月	33,590	10,470	31,363	9,646
11 月	26,185	8,591	24,606	7,949
12 月	28,113	9,542	28,210	9,360
1 月	27,926	9,699	28,077	9,506
2 月	25,099	7,480	24,895	7,085
3 月	4,135	1,617	4,412	1,754
合 計	274,644	88,533	282,688	88,788
開館日数	290		295	
開館時間	2,928		3,038	

図書館ホームページではより詳細な内容がご覧いただけます。

« 入館者数 »

http://www.tufs.ac.jp/library/gaiyo/toukei/toukei_visitors.pdf

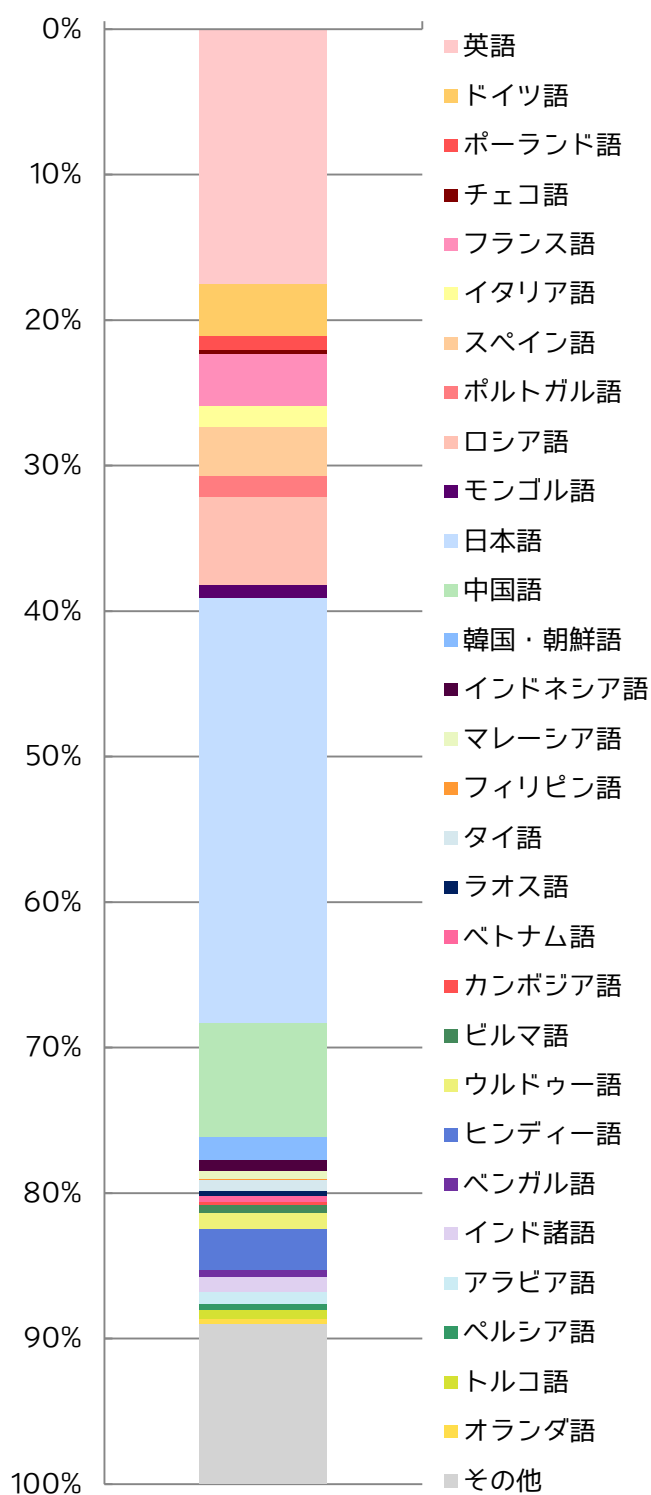
« 貸出冊数 »

http://www.tufs.ac.jp/library/gaiyo/toukei/toukei_loan.pdf

附属図書館・言語別所蔵冊数

【平成 26 年 4 月現在】アジア・アフリカ言語文化研究所蔵書は除く

言語名	冊数	割合
英語	121,789	17.49%
ドイツ語	25,300	3.63%
ポーランド語	6,493	0.93%
チェコ語	2,041	0.29%
フランス語	24,959	3.58%
イタリア語	10,096	1.45%
スペイン語	23,195	3.33%
ポルトガル語	10,155	1.46%
ロシア語	41,993	6.03%
モンゴル語	6,609	0.95%
日本語	203,142	29.17%
中国語	54,477	7.82%
韓国・朝鮮語	11,338	1.63%
インドネシア語	4,842	0.70%
マレーシア語	4,241	0.61%
フィリピン語	365	0.05%
タイ語	5,399	0.78%
ラオス語	2,152	0.31%
ベトナム語	3,117	0.45%
カンボジア語	1,265	0.18%
ビルマ語	3,540	0.51%
ウルドゥー語	8,011	1.15%
ヒンディー語	19,470	2.80%
ベンガル語	3,213	0.46%
インド諸語	7,512	1.08%
アラビア語	5,540	0.80%
ペルシア語	3,106	0.45%
トルコ語	4,061	0.58%
オランダ語	2,789	0.40%
その他	76,237	10.95%
合計	696,447	



📖 図書館活動日誌（平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月）

【活動】

- 4 月 3 日 リクエストガイダンス（全 3 2 回 ～1 月）
- 4 月 9 日 図書館オリエンテーション（全 3 回 ～1 2 日）
- 4 月 1 5 日 学術リテラシー科目附属図書館担当分講義「附属図書館利用案内」（全 3 回 4 月 1 6 日・4 月 1 8 日と計 3 日間）
- 4 月 2 3 日 情報検索ガイダンス（全 7 回 ～5 月 3 1 日）
- 6 月 3 日 学術リテラシー科目附属図書館担当分講義「情報検索演習」
（全 6 回 6 月 4 日・6 月 6 日・6 月 2 4 日・6 月 2 5 日・6 月 2 7 日と計 6 日間）
- 6 月 1 9 日 平成 2 5 年度第 1 回図書館委員会
- 6 月 2 6 日 駐日ポーランド大使一行来訪
- 7 月 1 日 テーマの決め方ガイダンス（多言語コンシェルジュ企画）（全 1 5 回 ～8 月 1 日）
- 7 月 1 0 日 平成 2 5 年度第 1 回選書委員会
- 7 月 2 2 日 平成 2 5 年度第 2 回図書館委員会（メール審議 ～3 1 日）
- 7 月 2 7 日 オープンキャンパス図書館見学
- 9 月 3 0 日 図書館館報「Castalia」第 2 0 号発行（インターネット公開）
- 1 0 月 9 日 楽しい外国語学習法（多言語コンシェルジュ企画）（全 4 回 ～1 1 月 6 日）
- 1 0 月 1 5 日 図書館オリエンテーション（全 2 回 ～1 0 月 1 6 日）
- 1 0 月 2 1 日 情報検索ガイダンス（全 5 回 ～2 5 日）
- 1 0 月 2 3 日 平成 2 5 第 2 回選書委員会
- 1 0 月 3 0 日 平成 2 5 年度附属図書館公開講演会（ドナルド・キーン コロンビア大学名誉教授・本学名誉博士
「私と外国語」及び 亀山 郁夫 名古屋外国語大学長との対談）
- 1 1 月 1 3 日 平成 2 5 年度第 3 回図書館委員会
- 1 1 月 2 0 日 平成 2 5 年度附属図書館特別展示会（「東京外国語大学とスペイン語」 ～1 2 月 2 2 日）
- 1 1 月 2 3 日 オープンキャンパス図書館見学（1 1 月 2 0 日～2 4 日はホームカミングデイズ 図書館見学も実施）
- 1 2 月 4 日 平成 2 5 第 3 回選書委員会
- 1 月 8 日 TAC（多摩アカデミックコンソーシアム）図書館サービス開始
- 1 月 1 4 日 四大学連合「学生団体 4 U」企画展示会（～2 月 2 0 日）
- 1 月 2 7 日 TUFS-ビブリオ「地域研究の基本文献」公開
- 1 月 3 1 日 アジア経済研究所図書館との相互利用に関する覚書締結（2 月 1 日から相互利用サービス開始）
- 2 月 4 日 漢字のつくりがわかれば、覚える・調べるが楽になる！（多言語コンシェルジュ企画）（全 3 回 ～1 2 日）
- 2 月 1 日 土日拡大開館実施（開館時間を 1 3：0 0 から 9：0 0 に変更 2 月 2 日・2 月 8 日・2 月 9 日と計 4 日間）
- 2 月 5 日 平成 2 5 年度第 4 回選書委員会
- 2 月 1 7 日 マンガ本紹介（多言語コンシェルジュバレンタイン企画）
- 2 月 2 8 日 台湾師範大学関係者来訪
- 3 月 2 0 日 平成 2 5 年度第 4 回図書館委員会
- 3 月 2 0 日 新図書館システム稼働開始、OPAC リニューアル

【学外会議・研修等】

- 4 月 1 9 日 国立大学図書館協会東京地区協会総会 2 名参加（於 東京芸術大学）
- 6 月 6 日 東京西地区大学図書館協議会加盟館会議 3 名参加（於 東京女子大学）
- 6 月 2 0 日 第 6 0 回国立大学図書館協会総会 2 名参加（於 名古屋市）
- 8 月 3 日～1 4 日 国立大学図書館協会海外派遣事業（アメリカ議会図書館等の訪問調査） 1 名参加
- 8 月 2 8 日 東京西地区大学図書館協議会サマーセミナー開催（於 当館 TUFS-ラーニングcommons）
- 9 月 2 5 日 学術情報ウェブサービス担当者研修 1 名ファシリテーター参加（於 国立情報学研究所）
- 1 1 月 1 2 日 東京西地区大学図書館協議会秋セミナー 1 名参加（於 成蹊大学）
- 1 1 月 1 7 日 私立大学図書館協会東地区部会研修分科会第 5 回 1 名講師参加（於 早稲田大学）
- 1 2 月 5 日 TAC 図書館部会会議、図書館員交流会 4 名参加（於 武蔵野美術大学）
- 2 月 1 9 日 国立大学図書館協会東京地区研修会「協働のススメ」 1 名参加（於 お茶の水女子大学）
- 3 月 1 0 日 TAC 図書館館長会議、図書館部会会議 3 名参加（於 東京経済大学）

📖 編集後記

今号は TAC 図書館サービスの特集です。個性豊かな TAC 加盟校図書館とその蔵書の利用について案内していますのでご活用ください。また、附属図書館では、8 月から **東京外国語大学「古本募金」**を開始しました。皆さまが読み終えた書籍等の買い取り額を寄附金として東京外国語大学に受け入れ、学生用図書を購入するプロジェクトです。どなたでもお申し込みいただけますので、ご協力をお願いいたします。

Castalia：東京外国語大学附属図書館報 第 21 号

2014 年 9 月 30 日発行

発行：東京外国語大学附属図書館 〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1